

平成 30 年度 第 4 回燕・弥彦地域公共交通会議会議録

日時：平成 30 年 11 月 22 日（木曜日）午後 3 時 00 分 ～ 午後 4 時 15 分

場所：弥彦村役場（1 階）大ホール

出席者（敬称略）

委員 会長 燕市長 鈴木 力

副会長 弥彦村長 小林 豊彦

国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課長 井藤 太亮

国土交通省 北陸信越運輸局 新潟運輸支局

首席運輸企画専門官 関谷 浩（代理）

新潟県 燕警察署長 澁谷 正夫

新潟県 西蒲警察署 交通課長 佐藤 亮（代理）

新潟県 三条地域振興局 企画振興部長 中野 誠

東日本旅客鉄道株式会社 助役 服部 龍男（代理）

一般財団法人新潟県地域医療推進機構（新潟県立燕労災病院指定管理者）

事務部長 渡辺 健一郎

地域公共交通の利用者（分水地区）若林 與一

（燕地区）竹井 満喜子

（吉田地区）中村 カホル

（弥彦村）坂井 洋一郎

（弥彦村）藤原 あい子

日本労働組合総連合会 新潟県連合会県央地域協議会 事務局長 渡辺 治

燕市観光協会 事務局長 井上 亮（代理）

弥彦村観光協会 会長 神田 睦雄

新潟交通観光バス株式会社 潟東営業所 所長 高澤 由樹

越後交通株式会社 三条営業所 所長 吉原 康幸

越佐観光バス株式会社 専務取締役 佐藤 洋彰（代理）

ウエスト観光バス株式会社 代表取締役 小林 文夫

株式会社中央タクシー 代表取締役 阿部 傳

中越交通株式会社 常務取締役 浅野 吉信（代理）

まきタクシー有限会社 代表取締役 青柳 大

地藏堂タクシー有限会社 専務取締役 中村 一成（代理）

弥彦タクシー株式会社 部長 三富 俊延（代理）

燕市企画財政部企画財政課長 春木 直幸（代理）

燕市都市整備部土木課長補佐 土田 和久（代理）

燕市産業振興部商工振興課長 遠藤 一真（代理）

燕市健康福祉部長 佐藤 徳子
燕市教育委員会教育次長 山田 公一
弥彦村総務課長 山岸 喜一
弥彦村観光商工課長 高橋 信弘
弥彦村福祉保健課長 三富 浩子
弥彦村教育課長補佐 本多 正（代理）
（計 35 名）

欠 席： 新潟大学 准教授 藤堂 史明
新潟県立吉田病院 事務長 小野 敏則
公益社団法人新潟県バス協会 専務理事 高橋 清吉
三条市 市民部環境課長 永井 努
株式会社燕タクシー 代表取締役 竹内 邦彦
弥彦村建設企業課長 丸山 栄一
（計 6 名）

事務局： （燕市）
市民生活部長 高野 光郎、生活環境課長 杉本 俊哉
生活環境課長補佐 亀山 修、交通政策係長 鈴木 義享
（弥彦村）
弥彦村総務課長補佐 田村 孝徳

燕・弥彦地域公共交通網形成計画策定業務受託者：ランドブレイン株式会社 名田 雅希

報道機関： 新潟日報、越後ジャーナル

次第：

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）について〔資料1〕

4. その他

5. 閉会

《会議資料》

資料1 燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）

1. 開会

【事務局】

時間前ではございますが、資料の確認をさせていただきたいと思います。本日机上に配布させていただきました会議の出席者名簿、配席図を1枚ずつ置いております。事前に配布させていただきました本日持参いただくようお願い申し上げておりました、会議資料につきまして、次第と、燕・弥彦地域公共交通網形成計画(素案)でございます。資料の過不足等ございませんでしょうか。

次第をご確認いただきたいのですが、次第の3番の議事(1)燕・弥彦地域公共交通網形成計画(素案)についての脇に(資料1)と記載がございますが、資料番号をつけ忘れており、計画素案が(資料1)となります。申し訳ございません。

2. あいさつ

【事務局】

時間前ではございますが皆さんお集まりでございますので、始めさせていただきます。お忙しいところご出席を賜りまして、また、足元が悪い中、寒い中お越しいたきましてありがとうございます。30年度第4回燕・弥彦地域公共交通会議を開会させていただきます。私は事務局を務めます生活環境課長の杉本でございます。よろしく申し上げます。それでは、次第によりまして、本交通会議の会長でございます、燕市長がご挨拶を申し上げます。

【会長】

皆さんこんにちは。大変足元の悪い中、前回から期間が短い中での開催ということで、お忙しいところご参加いただきまして誠にありがとうございます。前回の会議でいくつか不足している点などのご指摘がありましたので、なるべく補うよう整理させていただき、素案ということで提出させていただきました。まだ後半は空欄となっているところもございますが、全体像を作り上げつつ詳細を皆さんにお示しできればと思っております。限られた時間ですが、引き続き忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【事務局】

議事に入る前に本日の出席状況についてご報告いたします。出席者名簿をご覧ください。議員数41名の内、本日の欠席者は6名でございます。出席者は代理出席の方13名を含めまして35名となっております。過半数のご出席をいただいておりますので燕・弥彦地域公共交通会議設置要綱の規定に基づきまして、本日の会議が成立していることをご報告申し上げます。

また、前回同様、計画策定業務を委託しておりますランドブレイン株式会社にも本日同席いただいております。

それでは議事に入りますが、本日の終了予定時刻は16時30分を予定しております。長時間となりますがスムーズな進行にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。それでは議事の進行につきまして、設置要綱に基づき会長よりお願いいたします。

3. 議事

【会長】

燕・弥彦地域公共交通網計画素案について、説明をお願いいたします。

【事務局】

《資料1に基づき説明》

【井藤委員】

70 ページの施策の中でスクールバスの空き時間を利用した活用について検討されるということでしたが、スクールバスが現在どのルートをどういう現状で利用されているかを共有する必要があると思います。公共交通の現状ということで記載がありますので、スクールバスの現在の状況についても記載いただきたい。68 ページのバス待ち環境の充実とありますが、現在のバスを待っている環境の記載がありませんので、把握されていないようでしたら、把握していただきたい。

【事務局】

只今ご指摘をいただきました件につきまして、スクールバスについては、現在の私どもの認識としては生活交通としての認識ではないため、今現在の素案には記載していませんが、指摘を受け、検討したいと思っております。バス待ち環境についても精査して、素案に盛り込めるような形を検討していきたいと考えております。

【井藤委員】

バス待ち環境で言いますと、交通結節点での待ち時間が発生するかと思います。環境整備するに当たっても優先順位をつけてやっていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【事務局】

承知しました。

【関谷委員】

細かい話になるかもしれませんが、57 ページに課題の総括をしておりますので、まちづくりや圏域住民の生活、鉄道、路線バス、コミュニティバスということで項目ごとに課題を総括して、次のページのところで、さらに課題1から課題4にまとめていますので、57 ページの課題を総括したところが次のページの課題1にあたるのか、課題2にあたるのかを明示してもらおうと見やすいと思いますのでご検討をお願いいたします。

もう一点ですが、目標値はまだこれからということなので、目標値を定めるということは、より具体の事業が定まらないと決められないと思います。それからの作業となると思いますが、課

題や住民からのニーズなどを踏まえた上で、具体的な事業を細かく定めて目標値を定めて欲しいです。

65 ページに事業内容と記載はありますが、漠然としていますので、できる限り具体的に記載して欲しいと思います。

【事務局】

ありがとうございました。57 ページ、58 ページにつきまして検討いたします。

目標と具体的事業の関係につきまして次回会議までには検討していきたいと思っております。

【中野委員】

54 ページにこれまでの点検評価をしていますが、指標 1 で不満と回答した方が増えていますが、指標 4 での循環バスの年間利用者が増えていきます。不満がありつつも利用が増加しているところの分析をどのように総括したうえで課題や具体的事業に進めるかのスタンスをお聞かせいただきたい。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。ご指摘いただきました 55 ページの一番の主要項目となります。毎年、住民意識調査を行ってきているものでございます。

不満の割合が基準値の平成 22 年度よりも直近の平成 29 年度の方が増えているが、年間の利用者数は増えているというご指摘についてですが、次のページに要因分析を記載してございます。満足度が低い要因といたしましては、循環バス・デマンド交通以外の一般交通を含めて質問しているため、相対的には循環バスやデマンド交通の利用者は一定数いますが、バスや鉄道の利用者の方が多くなっており、運行便数が少ないなどの課題が不満の高まっている理由となっていると思います。

【中野委員】

この計画は公共交通の計画ですが、手法としてはバスとなっており、公共交通の事業者にご協力をいただいてネットワーク化をしなければ、5 年後も不満が改善しないのではないかと危惧しております。

【事務局】

ご指摘ありがとうございます。工夫しながら改善できる部分としてやりやすいのがコミュニティバスやデマンド交通のため、率先して行っていきたいと考えています。また、鉄道、路線バスは交通事業者の意向もあり、我々の一存だけでは決定できないため、交通事業者と調整をはかりながら改善を図っていき、全体としてネットワーク化を図っていきたいと考えております。

【若林委員】

国県補助金が少ない中で、サービスをよくすることは大変だと思います。そのあたりを考えまして、お隣の三条市ではデマンド交通を行っており、デマンドの待ち時間が読めない気がします。300円ぐらいで走っていますが、料金を値上げしてもどこでも行って欲しいという要望もありますので検討して欲しいと思っております。

【事務局】

ありがとうございました。デマンド交通は時間が読めないと指摘いただいております。計画においてデマンド交通の見直しができるのかどうかを検討させていただきたいと考えております。料金についても受益者負担の適正化の観点から見直しを加え、今後検討していきます。

【井藤委員】

62ページから64ページの評価指標が2つずつとなっているが、施策ごとに2つ程度の指標を設けるという意味なのか、66ページ以降を見ますと施策の下に細かい施策ごとに指標を設けるのか教えていただきたいです。

【事務局】

評価の指標についてですが、5つの施策についての評価指標を検討しています。現在2つとなっていますが、数については今後、示すようにいたします。

【井藤委員】

66ページ以降の細かい資料作成についての指標は設けないのですか。

【事務局】

交通網形成計画の中では検討していません。事業を推進していく中で、細かい事業内容を詰めていき、必要になれば主要項目を定めて設定していく予定です。

【井藤委員】

計画の中で位置づけることではないと思いますが、接続不完全や鉄道とバス乗り換え時間の確保など、具体的な目標を定めて進めていくことがベターであると考えています。

【会長】

他に何かありますでしょうか。現行の計画ではあまり観光の視点がなかったため、今回作ろうとする計画には観光について入っていますが、観光協会さん何かご意見はありませんか。

【井上委員】

意見ありません。

【会長】

他にご意見がないようでしたら、さらに深掘りしてほしい事等について、いくつか指摘がありましたので、次回までに整理して皆さんに示し、またご意見を伺うという形でまとめさせていただきたいと思っております。

次にその他について事務局から説明をお願いいたします。

4. その他

【事務局】

二点ほどお伝えしたいことがございます。

今回の第5回目の交通会議は、12月20日木曜日午前9時30分から燕市吉田公民館3階の大ホールで行うことを予定しております。後日ご案内を郵送いたしますのでよろしくをお願いいたします。当初の予定より1回多く開催することになりまして、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

今後の予定として、この後、12月の燕市定例議会の議員協議会、弥彦村の12月定例議会の議員懇談会の方で計画の素案内容について説明いたします。その後、12月下旬から年明け1月までパブリックコメントを実施いたしまして、2月6日に開催を予定しております第6回燕・弥彦地域公共交通会議で計画の最終案の説明をさせて戴く予定としております。事務局からは以上です。

【会長】

事務局から説明いただきました次の開催について、第5回会議は12月20日木曜日9時30分から燕市吉田公民館3階の大ホールで開催し、その後、議会等の説明、パブリックコメントを行い、年明けの2月6日に第6回交通会議を予定しているということです。12月20日と2月6日の予定を組んでいただければと思います。それではせっかくの機会ですので、委員の皆様から何かご発言があればお受けします。

【藤原委員】

やひこ号はチケットや回数券の発行の予定はないでしょうか。一回ごとに現金で乗るという事は中々難しいこともある聞いておりますので、見通しを計画に入れていただければありがたいかなと思っております。

【事務局】

きららん号のみ回数券を行っています。現段階で行うという話にはなっておりませんが、ご意見をいただいて計画の中で取り入れていければ行おうと思っております。今の段階ではご意見として伺いいたします。

【若林委員】

運賃の値上げということは考えていますか。

【事務局】

運賃の件につきましては、受益者負担の適正化も考えておりまして、料金の値上げということも視野に入れながらこれから先検討させていきたいと考えております。

【井上委員】

先ほど議長の方からお声がけがあった時に答えられなくて申し訳ありませんでしたが、69ページの「施策4 観光客のための交通手段の充実」と記載があり、今日は会長山崎の代理で出席となっております。以前はどうだったって言うのはちょっと資料を中々読む機会がなくて申し訳ないんですが、この公共交通は市・村民の方の移動が主たる目的なのかなといったところで観光客をターゲットというふうに置き換えたときは、逆に市外・村外・県外そういった方々がお越しになって利用させていただくといった解釈で充実を図るという風に書かれているのかもしれないんですけど、観光タクシーゴールデンルート号のPR強化と記載しているなかで、バスではなく、現行やっているゴールデンルートをそのまま継続していきたいというような解釈なのか、それともスワロー号や、やひこ号のようなコミュニティバスを走らせるより、観光客向けにしたルートを作って走らせるという市外や県外に届くPRの手法がすごく大事になってきます。

現在はゴールデンルート号を運行して、やはり県外からお客様に来ていただきたいと思っております。ターゲットとして持っているものですから県外に対してこういったことがありますよというようなことを積極的に売りかけています。それによって年々利用者が少しずつですけど増えてきています。公共交通で県外の観光をターゲットにというのは、どの程度まで念頭に置いているのかというのを教えて頂ければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【事務局】

今ご指摘いただきました69ページについて、観光振興にかかわる部分となります。井上委員さんからのご意見の通りとなっております。

一つは今後の具体的な手段といたしましては、観光協会さんと燕市・弥彦村が共同で運行しておりますゴールデンルート号の利便性をもう少し図っていける余地がないのかということについて掲載させていただきました。

もう一つとして、観光・イベントと連携した交通手段という事で別の手段でもエリア網の交通を充実するという観点で書いております。観光客や住民の両方の皆さんにご利用いただくことができないかという事で考えています。PRが大事という事でご意見いただきましたので今後検討していきたいと思っております。インターネットを使って、色々なバス交通サービスもできております。それらもコミュニティバスにも利用できるのかどうかその辺の調査もしていきたいと考えております。

【井上委員】

こちらに観光に来る客層がインターネットと利用されている方ではなくペーパーものを見てお越しになっている方が多くなっております。ウェブサイトからきてくださっている方ではない方へのPRも考えていかなければならないと考えております。ありがとうございました。

【関谷委員】

質問事項についての不足がありましたので補足いたします。網形成計画では、地域公共交通だけでなく、観光の部分も議論していくべきだと思います。観光の二次交通について、ゴールデンルート号についてはタクシー事業者がタクシー行為を行うものです。一方、やひこ号やスワロー号は地域公共交通の原則としては地域住民の足を守るためのものと位置付けられているため、地域住民の足を確保するコミバスに観光客を乗せていいのかということ現状では難しい状況にあります。観光客を乗せるためには、別の高いハードルの手続きを踏んでいかなければなりません。運用についてはきちんと整理をして考えていかなければならないと思います。

【会長】

純粹に観光客をコミュニティバスに乗せるというのはハードルが高いと思いますが、ルートの中に産業史料館等などの観光施設があつて、新幹線から下りてコミュニティバスで産業史料館に行くなど、観光客が利用するというのも難しいのですか。

【関谷委員】

観光客のためというのは難しいが、生活のために必要な場所と言えれば問題ないです。

【坂井委員】

ビジョンよしだに來ているバスはバランスが良く運行しているとは思っておりますが、使い勝手がよくないと思います。運行している側はサービス提供側で乗っている方はサービスを受ける側となります。住民の行動とバランスがあっていないのではないかと思います。例えば、朝に学校や会社に行き、その後にお年寄りが医者に行くというサイクルで一日動いていますが、あまり利用されていない時間も運行しています。利用が多い時間にサービス供給量を増やせばよいのではないのでしょうか。ドアトゥドアでバスを利用したい方が多くいます。私も免許証を返納したらバス停まで5分も歩かなければならないため、どこでも止まって乗車できるようにしてほしいと思います。

【会長】

すべての住民の要望を聞かないといけないのかは難しい問題があります。費用や運転手の確保、車両の確保等のいろいろな課題があるため、できるだけ可能な範囲で改善していきたいですが、すべて自分の家まで迎えに来て送迎できるようにするには公共交通の役目としてできない部分もあると思います。

【坂井委員】

目的があった時に、乗りやすい場所を住民に周知されていない部分があります。ビジョンよしだに來るバスは30分ほど駐車で待機しています。時間になると出てきますが、朝の混雑時にはもう少し多くてもいいのではないかなと思ったのですが。

【会長】

きららん号については午前中に増便して午後は減便してはいいのではないかという話はしておりますが、受託しているバス会社やタクシー会社の現状をお聞きしたところ、運転手や車両の確保ができるかどうか課題があります。

【会長】

他にご意見がないようですので、事務局にお返しいたします。

5. 閉会

【事務局】

ありがとうございました。

閉会にあたりまして、副会長であります弥彦村の小林村長よりご挨拶をいただきたいと思ます。よろしくお願いいいたします。

【副会長】

本日は長時間にわたりまして、熱心なご審議をいただきましてまことにありがとうございました。皆様本日はどうもありがとうございました。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして閉会とさせていただきます。

皆様ありがとうございました。

以上